

## 目次

プロローグ く時代が追いついてきたく	1
第1章 時代を先取りした生産施設が誕生したわけ	11
環境経営のトップランナー	12
原点を探る	23
エコロジーはエコノミー	30
100億円の選択肢	34
面積を取るか、生態系を優先するか	38
挑戦・創造・貢献	45
人の来ない会社に繁栄なし	48
第2章 誕生までの道程	53
苦難の道のり	54

追い風となった米国「成層圏保護賞」	60
粘り勝ち	61
価値を高めたニコルの参加	64
ニコルからの手紙	68
福留脩文という男	72
近自然工法の導入を決断	76
実施設計案がまとまる	79
古代から先端技術が息づいた地	81
近自然工法を可能にした石と木	85
日本一のピオトープを創る	89
トップクラスの生産施設を	94
サンデンフォレスト誕生	96
第3章 活用と評価	99
誕生1年の評価	100
サンデンファシリテイ	103

環境教育という方向性	106
環境ネットワークを結成	109
「あかぎくらしぶ」の誕生	112
「赤城自然塾」とエコツーリズム	114
モニタリング調査の結果から	115
地域とのパートナーシップ	119
多彩な来訪者を満足させるために	121
内外からの高い評価	124
10周年を迎える	129
「COP11」で発表	131
サンデンフォレストとSDGs	133
第4章 C・W・ニコルVS牛久保雅美	137
二人の邂逅からすべてが始まった	138
「環境を大切にしたい工場こそが、経営もうまくいく」	142
「約束を守る男」	145

社会の中で負う使命と本質と	151
「PROTEAN BEHAVIOR」の精神で	154
「リスクを負って立ち上げろ」	157
エピソード〜ぶれないということ〜	161
サンデンフォレストの歩み	164
参考文献	170
C・W・ニコル氏からのメッセージ	172
後を継ぐ者たちへ	174